

J Aグループ 国立大学と連携強化 全中と協会 初懇談 地方創生へ役割発揮

J A全中の中家徹会長は4日、全国の国立大学でつくる国立大学協会の室伏きみ子副会長らと、東京・大手町のJ Aビルで懇談した。J Aと農学部をはじめ、協同組合と国立大学の幅広い連携について意見交換。地方創生や地方の多様な価値観の発信などに向け、さらに連携を強化していくことを確認した。

両団体の懇談は初めてで、国立大学協会から呼び掛けた。同協会は、国立大学とJ Aが連携・協力した取り組みの調査結果を持参し、農学系学部の授業協力や委託研究、寄付講座、包括的な連携協定など全国で延べ90事例あったと報告した。中家会長はこれらを横展開していく方針を示した。両団体は地方創生に向

実情や、地域の多様な価値観・ニーズについて、正確な情報を発信していくことでも一致した。懇談には、全中の比嘉政浩専務や、日本協同組合連携機構(JCA)の青竹豊常務らも同席した。

中家会長は「農業振興や地域活性化にJ Aが取り組む中、国立大学と連携し、指導もいただいている。農業だけでなく、協同組合も含めて幅広く連携を進めたい」と強調。室伏副会長は「国立大学も各大学の特色を生かし改革を進めている。これからも協力し、よりよいものをつくりだしていきたい」と述べた。

両団体の懇談は初めてで、国立大学協会から呼び掛けた。同協会は、国立大学とJ Aが連携・協力した取り組みの調査結果を持参し、農学系学部の授業協力や委託研究、寄付講座、包括的な連携協定など全国で延べ90事例あったと報告した。中家会長はこれらを横展開していく方針を示した。両団体は地方創生に向



地方創生に向けて意見交換した全中の中家会長(左)と国立大学協会の室伏副会長(4日、東京・大手町のJ Aビルで)